



2022年4月7日

各位

会社名 株式会社ハチバン  
代表者名 代表取締役社長 長丸 昌功  
(コード番号：9950 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役執行役員管理部長 舟山 忠彦  
(TEL 076-292-0888)

### 営業外収益および特別損失の計上ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期において、営業外収益および特別損失を計上する見込みとなりました。併せて2021年11月1日に公表しました2022年3月期通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 営業外収益の計上について

新型コロナウイルス感染症対策として自治体への時短営業に伴う協力金の支給申請等により、第3四半期累計期間の163百万円と合わせ、2022年3月期累計期間で221百万円を協力金収入として営業外収益に計上いたします。

#### 2. 特別損失の計上について

2022年3月期の期末決算において、将来的に収益性が低下し継続的な利益確保が困難であると判断した店舗について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失93百万円を特別損失に計上いたします。

#### 3. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年3月21日～2022年3月20日)

	営業収益	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,000	5,500	△275	△95	△125	△42.77
今回発表予想 (B)	5,915	5,400	△343	△69	△168	△57.70
増減額 (B-A)	△85	△100	△68	26	△43	—
増減率 (%)	△1.4	△1.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	5,797	5,309	△647	△514	△647	△221.64

#### (2) 修正の理由

下期における8番らーめん店舗および和食店舗の末端売上高は、年末年始までは想定通り回復しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の第6波の影響を受け2022年2～3月度は想定を下回る結果となりました。店舗における人件費コントロールや経費節減の取組みにより販売管理費の削減を行った結果、営業損失は343百万円を見込みます。

第4四半期会計期間に、まん延防止等重点措置の適用を受けた石川県・岡山県では時短営業に伴う協力金収入を58百万円見込み、第3四半期累計期間に受領した163百万円と合わせ、221百万円の協力金収入を営業外収益に計上し、経常損失は69百万円を見込みます。

特別損失として減損損失93百万円の計上があり、親会社株主に帰属する当期純損失は168百万円を見込み、通期連結業績予想を修正いたします。

※上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

#### 4. 配当および株主優待制度について

2022年3月期の期末配当予想ならびに株主優待制度の変更はありません。

<参考：末端売上高実績の既存店前年（2020年度）同月比> （単位：％）

業 態	4 月度	5 月度	6 月度	7 月度	8 月度	9 月度	上半期計
8 番らーめん店舗	134.9	131.3	107.3	103.6	112.3	89.1	110.6
和食店舗	182.9	353.6	81.8	93.6	87.3	63.6	102.4
その他業態店舗	147.1	174.2	92.4	82.8	84.3	80.6	99.8

業 態	10 月度	11 月度	12 月度	1 月度	2 月度	3 月度	下半期計	年度計
8 番らーめん店舗	92.0	105.1	93.5	112.5	93.0	87.7	97.5	103.9
和食店舗	87.8	108.6	115.2	185.8	113.7	108.0	117.5	112.3
その他業態店舗	73.3	82.4	84.1	118.2	78.9	77.7	84.5	91.5

以 上